

# きゅうりの農作業マニュアル

- ① 安全に作業しましょう！
  - ・収穫カッターなどの道具の扱いには注意しましょう
- ② きゅうりは丁寧に扱きましょう！



ハウス内のきゅうり

## 1. きゅうりの出荷規格

等級	階級	選別基準		摘要
		1本の本数	長さ (mm)	
A	L	43本以上	230以上～260未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲がりか15mm以内のもの</li> <li>・品質、形状、色沢、鮮度良好で病害虫の被害ないもの</li> </ul>
	M	54本 //	190以上～230未満	
	S	60本 //	160以上～190未満	
B	L	43本以上	230以上～260未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質A品に次ぐもの</li> <li>・曲がりか16～30mm以内のもの</li> <li>・鶴首、腹絞り、尻太、腹白の軽微なもの</li> </ul>
	M	54本 //	190以上～230未満	
	S	60本 //	160以上～190未満	
C	B	5kgダンボール	160以上～300未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質B品に次ぐもの</li> <li>・曲がりか40mm以内で1本当たり65g以上のもの</li> </ul>

☆ 容器・容量：ダンボール、5kg標準（満杯詰）



## (2) つる下げ

きゅうりは11月から7月初旬までの長期間収穫します。これは、長期一作型という栽培方法で、栽培が終わる頃には6mを超えるほどの長さまで、長くつるを伸ばしていきます。

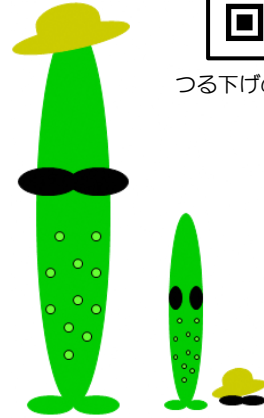
「つるが伸びたら下ろす」という作業を繰り返しますので、この作業を**つる下げ**と呼びます。



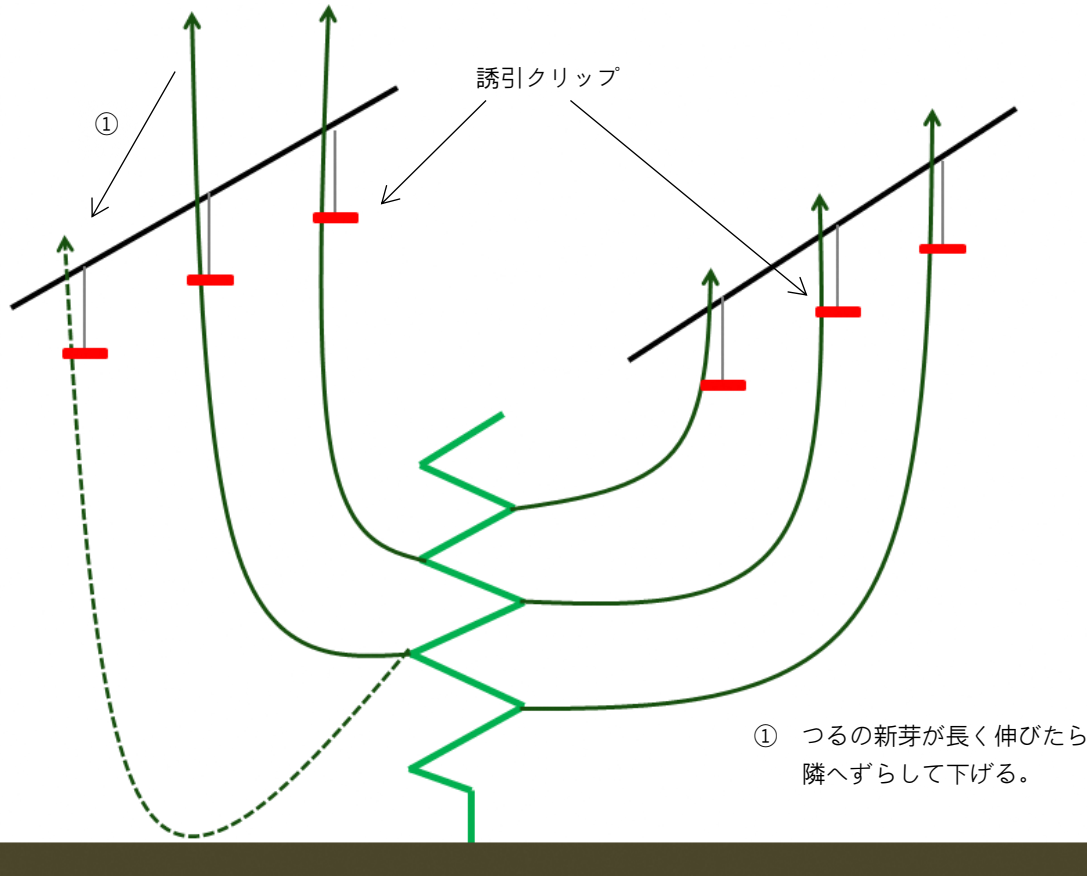
つるの新芽が長く伸びた状態



つる下げの動画はこちら



Qちゃん&きゅうり坊や



つる下げ作業の方法



長く伸びた新芽のつるを挟んでいる誘引クリップを外す。



すぐ隣の誘引クリップ、新芽すぐ下の2～3節目を挟んでつるす。



つる下げ作業前



つる下げ作業後

### < つる下げ作業の注意点 >

- ① つる先を折らない。  
きゅうりのつるには、巻きひげがあり、吊るしているひもや、隣のつるに絡んでいる場合に引っ張ると、つる先を折ってしまうので注意する。
- ② つるは先に行くほど細くて折れやすいので、誘引クリップはつるの2節目か3節目の下をはさむ。つるが細い場合は、3節目より下の4節目の下をはさむ。
- ③ 10aのハウスには、1、200本以上のつるがあり、つる下げ作業はずっと手を上にあげたままの作業になる。1本1本のつるが大事なので大切に扱う。

### (3) 摘果

同じ節（葉の付け根）に2つ以上実があると、実の肥大が悪くなるので、1つだけにします。



1節から2果でている場合は小さいほう（赤矢印）を適宜取る。



摘果した後

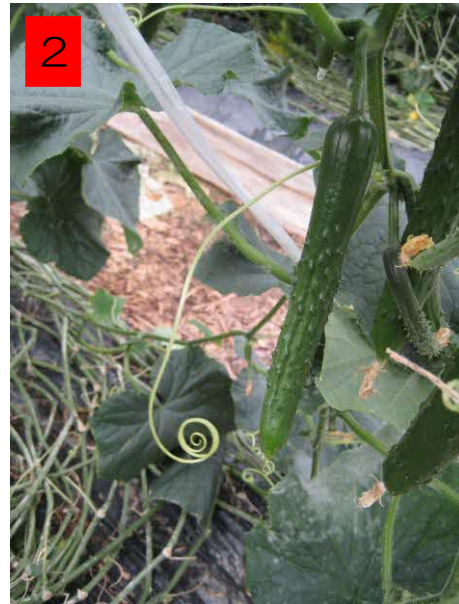
### (4) 花がら取り

出荷するときには、花がらは取り除きます。

また、花がらから灰色かび病等の病気が発生しやすいので、適宜取り除きます。



花がら（赤矢印）も適宜取る。



花がらを取った後

## (5) 下葉取り

きゅうりは、実のついている所より上の葉が重要であり、つるを下げるときに、つるの下の方の葉は順次取っていきます。



つる下げ後の下葉取りの様子



下葉を取った後



下葉を取る前



下葉を取った後（赤矢印：下葉を取った跡）



下葉取りの動画はこちら

本資料についての問い合わせ先  
阿南・那賀未来の農業づくり協議会  
阿南農業支援センター  
〒774-0030 阿南市富岡町あ王谷 46  
TEL：0884-24-4182